

資料5

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターの建替え整備について

■ 建替えの必要性

- 築後43年経過、施設・設備が老朽化、患者療養環境の不備
- 患者療養環境の不備、医療ニーズへの対応の限界
 - ⇒ 今後、センターの建替え整備を進めていく（現地建替え）

■ 医療機能の方向性

- 政策医療（結核、呼吸器・アレルギー、感染症）の推進
- 上記の政策医療における併発症への対応（循環器、消化器疾患との併存症患者への対応）
- 地域医療への貢献（周産期医療、在宅療養の後方支援等）

■ 新病院の病床規模 ……詳細は今後検討

- 一般病床 現在の稼働病床数と同程度の規模を想定
- 結核病床 結核患者数の減少傾向を反映して減床を想定
 - ※ 一般病床のうち一部は、地域包括ケア病棟として運用予定

■ 新病院の基本計画の策定

平成29年度 現地建替えに向けた新病院の基本計画を策定予定
(現在開会中の大阪府議会で予算等について審議中)

平成34年度 開院(想定)

■ 病院名の変更(参考)

平成29年4月から、「大阪はびきの医療センター」に病院名が変わります。